

学校評価計画表(令和3年度)

奈良県立畷傍高等学校 (定時制課程)

教育目標		日本国憲法・教育基本法及び学校教育法に定められた教育の根本精神に基づき、人権の尊重を基底とした民主的な社会の形成者としての必要な資質を養い、豊かな文化の創造に寄与する心身ともにたくましい生徒の育成をめざす。			総合評価		
運営方針		知・徳・体の調和のとれた、自主的・創造的で心身ともにたくましく活力ある生徒を育成する。					
令和2年度の成果と課題		本年度重点目標			具体的目標		
○新型コロナウイルス感染症による教育活動制限を最小限に抑えることができた。生徒の三修制希望に対応した「0限目授業」、学力向上を図る授業時間延長も軌道にのせることができ、一定の成果を上げることができた。	○生徒が自身の将来像をイメージすることを喚起し、よりよく生きるための力をはぐくむ。	○規範意識の向上を図る。	○基本的な生活習慣の確立を促す。		○社会のルールやマナーを身に付けた生徒を育成する。		
		○自他を尊重する心の育成を図る。	○各生徒の悩みや課題の把握と理解に努める。				
		○基礎・基本の定着と進路希望の実現を図る。	○お互いを支え合い、信頼し合える人間関係づくりを促す。				
		○教職員の資質と指導力の向上を図る。	○確かな学力を身に付けさせるため、魅力ある授業を行う。				
			○将来を見通した進路希望の実現を支援する。				
			○授業公開や研修会などを積極的に行い、自ら指導方法の改善に努める。				
			○常に研鑽に努め、自ら資質の向上を図る。				
具体的目標		具体的方策・評価指標		自己評価結果	成果と課題	改善方策等	学校関係者評価
教務部	校務支援システムを積極的に活用し、業務の効率化を図る。	例えば、観点別評価や出席状況の把握などに校務支援システムを活用することで、業務の効率化を図る。					
	三修制希望生徒の支援を充実させる。	「0限目授業」の履修と学校外での学修成果により単位の修得ができるよう、担当者との連携を図る。					
生徒指導部	安全・安心な学校づくりを目指す。	定期的に校内及び校外の巡視、各所での立哨を行う。警察(スクールサポーター)との連携を密に取り、不審者情報等を共有する。					
	生徒一人ひとりの悩みや課題に応じた指導を行う。	生徒との面談や外部機関との連携を積極的に行い、実態把握を進める。生徒の情報を関係者で共有し、適切な指導ができるようにする。					
進路指導部	生徒自身が自分の適性を知り、希望の進路に進めるように、進路に関する様々な学習活動を展開することで社会人としての素養を養う。	HR活動や学校行事等で、生徒が自分の適性を知り、それを生かせる具体的な進路について考えさせる。					
		進学や就職に関する情報の収集と選択について理解させる。					
		対面授業に加え、希望の進路先を調べたり見学することで、社会人として必要なマナーや活躍できる素養を身につけさせる。					
人権教育部	「人権教育の推進についての基本方針」に沿って、教育活動全体を通して学習に取り組みさせる。	お互いを尊重しながら、それぞれの自己実現に向けて努力させる。					
		講演会や映画会を通して様々な意見について考えさせる。					
保健体育部	体育的行事を行い、生徒間の交流を深め、運動の大切さを理解させる。	スポーツ行事を年2回実施し、身体を動かす大切さを理解させる。					
	自らの健康について理解させ、健康の保持増進を図る能力を育成する。	体力テストを実施し、各自の運動能力を理解させ、向上させる。					
		身体測定や健康診断の結果をもとに、自分の身体状況や健康状態を把握させ、健康な生活を行うよう指導する。					
第1学年	基本的な生活習慣の確立と高校生としての自覚を持たせる。	保護者と連携を図り、問題行動に繋がらないようにする。					
	集団生活における規律や協力について理解を深めさせる。	挨拶やマナー等の大切さについて具体的に指導し、生徒の協調性が向上するクラス運営を図る。					
	生徒自身が教員に相談したり、話しやすい環境づくりを目指す。	生徒と教員間のコミュニケーションを十分に図り、生徒の変化をいち早く発見し、適切な対応ができるようにする。					
第2学年	自らの進路について主体的に考えさせる。	HR活動や個人面談、進路講演会などの機会を通して進路情報を提供し、生徒が進路のことを自分事として捉え、自ら考え行動できるようにさせる。					
	基本的な生活習慣の確立や学校生活での規範意識の向上を図る。	遅刻・早退・欠席や問題行動の減少とSHRや授業時の起立・礼や挨拶などの授業態度の指導を行う。					
第3学年	規範意識を高める。	社会活動において必要な生活態度やマナー、責任ある言動を身につけさせる。					
	確かな学力の定着を図る。	学び方を提案、実践できる環境作りをする。					
	進路について、具体的に考えさせる。	進路希望を元に、具体的な情報を提供する。					
第4学年	最高学年として心残りのない、充実した学びの年にさせる。	様々な活動の中で社会人・最上級生らしい礼儀作法を磨かせる。					
		少人数制を活かし、個々に応じた進路指導などを行う。					

	具体的目標	具体的方策・評価指標	自己評価結果	成果と課題	改善方策等	学校関係者評価
国語科	漢字や語句といった基本的な知識を定着させる。	音読や小テストなどの演習を多く実施する。副教材を用いて意欲を高める。				
	表現することを通して、学習内容の定着と応用力を育成する。	作文指導をきめ細かく行う。発表や発言の機会を設ける。				
地理歴史科	生徒にとって身近なことから、興味や関心を持たせる。	生徒の身近な生活圏の歴史や話題のニュースなどを授業に取り入れるようにする。				
	歴史認識を基礎に、歴史的な思考力を身につけさせる。	正確に歴史的な事実などを認識し、自分のことばで文章化できることを目指す。高卒認定試験の受験対策も併せて実施する。				
	各時代や国々の特徴を史資料などを通して認識させる。	当時の人々の生活の様子や文化的特色を史資料などから考察し、各時代や各国の特徴を把握させる。				
公民科	時事問題を適時取り入れ、生徒が社会の出来事に対して、興味・関心を持つようにさせる。	最新のニュースや生徒の興味・関心に沿ったニュースなどを通して、世界や日本の社会や出来事に興味・関心を持たせる。				
	授業時の冒頭に前時の復習や教材を精選することで、基礎的知識の習得させる。	都道府県のプリントの活用や授業プリントも内容を精選し、整理しやすいものを作成する。また、授業の最初に復習の時間を設けるなど基礎知識が定着するような取り組みを行う。				
	現代社会の問題や課題を、主体的に学ぶ視点を養う。	授業時間に討論やペアワークなどの意見交換の時間を設け、社会の諸問題に自ら対応する力を身につける。				
数学科	数学的な知識、技能の習得を図る。	基礎的な内容から始め、知識・技能を習得させる。				
		問題演習の時間を多くして、自身で問題を解く習慣を身につけさせる。				
理科	基礎・基本的な事項の定着を図る。	プリント等で復習を重点的に行い、定期的にノート等を点検する機会を設ける。				
	理科への興味関心の向上を図る。	視聴覚教材や演示実験等を行い、生徒の興味を引き出す授業を行う。				
保健体育科	授業を通して集団の一員であることを理解させる。	集団行動を実施し、迅速な行動を身につけさせ、集団の一員ということを自覚させる。				
	運動をすることの楽しさ、喜びを味わせるとともに、スモールステップで出来た時の達成感を体験させる。	主として球技種目を実施し、運動の楽しさを教え、生涯に渡って運動を続けていける力を身につけさせる。				
芸術科 (書道科)	書の基礎的な表現力を養う。	古典を手本にして書の基礎的な表現力を身につけさせる。				
	書を通して自己を表現する。	漢字仮名交じりの書を通して表現力を養う。				
		基本的な表現力を定着させる。				
英語科	基礎・基本を着実に身につけさせる。	工夫してノートをつくる態度を身につけさせて理解の深化を図る。				
	小目標の達成を重ねようとする積極的な態度を育成する。	小テストを活用して学習の定着を図り、成績の向上を図る。				
家庭科	生活に関する基礎的・基本的知識と技能を習得させ、人との関わりの中で、生活者としての自覚と責任を持ち、主体的に社会に貢献できる資質・能力を育成する。	食育を中心に家族、保育の重要性を認識させ、賢い消費者としての実践力を身につけさせる。				
		特に、主体的な消費、行動、消費者の権利と責任、資源、環境など、ライフスタイルを考える力を育てる。				
情報科	情報を適切に収集・処理・発信するための基礎的な知識と技能を習得させるとともに、情報を主体的に活用しようとする態度を育てる。	情報機器に対して自己効力感を形成できるように、きめ細かな指導を行う。				
		著作権等の保護など、情報社会で生きていくための情報モラルを身につけさせる。				
商業科	社会やビジネス活動に必要なマナー・知識・技能を習得させ、社会人として必要な素養の育成を目指す。	商業の各科目の学習内容で、基礎・基本の理解を重視し、実習を通して、実践的な能力を身につけさせる。				
		ビジネス活動を計数的にとらえたり、望ましいコミュニケーション能力が育成されるように授業等を工夫する。				